



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3799 URL http://www.keyware.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長兼広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,199	△1.3	△244	—	△247	—	△253	—
29年3月期第1四半期	3,242	0.4	△157	—	△160	—	△166	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △252百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △308百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△30.22	—
29年3月期第1四半期	△20.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	8,486	5,533	65.2
29年3月期	9,113	5,816	63.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,533百万円 29年3月期 5,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	4.1	250	175.5	200	40.0	150	63.1	17.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	9,110,000株	29年3月期	9,110,000株
30年3月期1Q	693,699株	29年3月期	716,299株
30年3月期1Q	8,399,268株	29年3月期1Q	8,319,441株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善がみられる等、緩やかな回復基調にあったものの、海外経済の不確実性や地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する情報サービス産業につきましては、本年7月に経済産業省が発表した平成29年5月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比で10ヵ月連続して増加しております。また、当社グループの売上高の大部分を占める「受注ソフトウェア」も、前年同月比で2ヵ月連続して増加しております。

このような状況のもと当社グループは、3ヵ年中期経営計画「中期経営計画2015」の基本方針である「既存事業の収益性向上と安定化」、「ポートフォリオの多様化」、「経営基盤の整備、改革」に基づき、取り組みを進めております。当四半期においては、既存事業において、引き続き需要の継続が見込まれるERP、金融分野の事業領域拡大に向け体制強化を推進いたしました。新事業においては、農業ICTや医療・ヘルスケア領域のほか、生産性改善コンサルティングサービスVSCといった事業を推進し、収益基盤の多様化に取り組んでまいりました。また、プロジェクトの品質向上や不採算プロジェクトの抑制に向け、組織横断的なプロジェクト監視・管理の徹底に努めたほか、プロジェクトマネジメント力向上に向けて社員のスキル強化に取り組むなど、経営基盤の整備、改革に努めてまいりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通り進捗し、受注高は4,017百万円(前年同期比789百万円増、24.5%増)、売上高は3,199百万円(同43百万円減、1.3%減)、営業損失は244百万円(前年同期は157百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は253百万円(前年同期は166百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① システム開発事業

受注高は2,649百万円(前年同期比504百万円増、23.5%増)、売上高は1,958百万円(同199百万円減、9.2%減)、営業損失は161百万円(前年同期は67百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、官庁系などにおいて見込んでいた継続案件の受注に遅れが生じているものの、運輸系の大型案件獲得などにより、前年同期比で大幅な増となりました。売上高につきましては、メディア系などが軟調に推移し、前年同期比で減少となりました。損益面につきましては、売上高の減少に伴い、前年同期を下回る結果となりました。

② S I 事業

受注高は986百万円(前年同期比350百万円増、55.1%増)、売上高は834百万円(同125百万円増、17.8%増)、営業損失は7百万円(前年同期は47百万円の損失)となりました。

ERP系の新規案件の獲得などにより、受注・売上高ともに前年同期比で大幅な増となりました。損益につきましては、売上高の増加に伴い、損失の縮小をはかることができました。

③ その他事業

受注高は380百万円(前年同期比65百万円減、14.7%減)、売上高は406百万円(同30百万円増、8.0%増)、営業損失は18百万円(前年同期は3百万円の利益)となりました。

受注高につきましては、運用・保守等のサポートサービス事業が好調であったものの、それ以外の事業が振るわず、前年同期から減少となりました。売上高につきましては、サポートサービス事業が好調に推移し、前年同期から増加いたしました。損益面につきましては、収益性の高い構築支援系の案件があった前期に比べ利益率が低下し、損失を計上する結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、4,968百万円(前連結会計年度末比566百万円減、10.2%減)となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,518百万円(前連結会計年度末比60百万円減、1.7%減)となりました。主な減少要因は、ソフトウェアの減少、投資有価証券の減少であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,244百万円(前連結会計年度末比281百万円減、11.1%減)となりました。主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少、賞与引当金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、708百万円(前連結会計年度末比62百万円減、8.1%減)となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、5,533百万円(前連結会計年度末比282百万円減、4.9%減)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成29年4月28日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの売上高は、事業の性質からくる季節的変動により第4四半期連結会計期間に偏ることから、通期の業績予想に対し第1四半期連結累計期間の売上高および損益の割合が低くなっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,156,921	1,829,835
受取手形及び売掛金	4,085,739	2,495,947
商品及び製品	28,482	4,385
仕掛品	107,725	487,365
その他	159,598	153,417
貸倒引当金	△3,499	△2,458
流動資産合計	5,534,968	4,968,492
固定資産		
有形固定資産	114,682	115,292
無形固定資産		
のれん	434,283	424,530
その他	356,177	327,330
無形固定資産合計	790,461	751,860
投資その他の資産		
投資有価証券	2,529,188	2,505,071
その他	144,875	146,473
貸倒引当金	△339	△339
投資その他の資産合計	2,673,724	2,651,205
固定資産合計	3,578,867	3,518,359
資産合計	9,113,835	8,486,851

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	780,691	587,244
1年内返済予定の長期借入金	603,330	651,029
未払法人税等	46,433	11,685
賞与引当金	527,323	269,884
その他	568,473	724,837
流動負債合計	2,526,253	2,244,680
固定負債		
長期借入金	634,368	570,003
資産除去債務	102,550	103,062
その他	34,383	35,801
固定負債合計	771,302	708,867
負債合計	3,297,555	2,953,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	3,763,219	3,466,908
自己株式	△215,338	△203,669
株主資本合計	5,792,355	5,507,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,484	37,922
退職給付に係る調整累計額	△8,560	△12,332
その他の包括利益累計額合計	23,924	25,590
純資産合計	5,816,279	5,533,304
負債純資産合計	9,113,835	8,486,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,242,665	3,199,353
売上原価	2,805,350	2,834,231
売上総利益	437,314	365,122
販売費及び一般管理費	595,284	609,871
営業損失(△)	△157,969	△244,749
営業外収益		
受取利息	-	24
受取配当金	1,195	1,207
受取報奨金	270	2,173
保険配当金	-	887
その他	8,941	375
営業外収益合計	10,407	4,668
営業外費用		
支払利息	5,383	3,076
支払手数料	3,400	3,694
持分法による投資損失	4,494	195
その他	113	-
営業外費用合計	13,392	6,966
経常損失(△)	△160,955	△247,047
税金等調整前四半期純損失(△)	△160,955	△247,047
法人税等	5,743	6,751
四半期純損失(△)	△166,698	△253,799
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△166,698	△253,799

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△166,698	△253,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,325	3,513
持分法適用会社に対する持分相当額	△136,751	△1,847
その他の包括利益合計	△142,077	1,666
四半期包括利益	△308,775	△252,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△308,775	△252,133
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	2,157,436	708,578	376,650	3,242,665	—	3,242,665
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	64,724	102	112,142	176,969	△176,969	—
計	2,222,160	708,680	488,792	3,419,634	△176,969	3,242,665
セグメント利益 又は損失(△)	△67,251	△47,194	3,433	△111,012	△46,957	△157,969

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△46,957千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	1,958,113	834,433	406,807	3,199,353	—	3,199,353
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	71,232	197	80,383	151,812	△151,812	—
計	2,029,345	834,630	487,190	3,351,166	△151,812	3,199,353
セグメント利益 又は損失(△)	△161,470	△7,038	△18,235	△186,744	△58,004	△244,749

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△58,004千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。